

## ★ 水稻のトビイロウンカの発生に注意してください！！ ★

9月上～中旬にトビイロウンカの緊急調査を行った結果、山城地域の4地点（京都市及び大山崎町）、中丹地域の2地点（舞鶴市）でトビイロウンカの発生を確認しました。他のほ場へも飛来している可能性がありますので、特に昨年、坪枯れ被害が発生したほ場では、今後の発生に注意してください。

### （1）トビイロウンカの発生状況等

- 9月上中旬にトビイロウンカの緊急調査を行った結果、山城地域の4ほ場でトビイロウンカの発生（うち2ほ場では短翅型成虫を1頭）を確認しました（表1）。
- 8月第5半旬～9月第3半旬までの予察灯調査では、京田辺で4頭（昨年：28頭）、京丹後で1頭（昨年：32頭）の誘殺を確認しました。亀岡では、誘殺を確認しませんでした（昨年：16頭）。

地域	調査地点	ほ場番号	25株見取り・払い落とし調査						20回振りすくい取り調査			
			寄生株率	成虫		幼虫	合計	程度*	成虫		幼虫	合計
				長翅	短翅				長翅	短翅		
山城	京都市西京区	1	0.0	0	0	0	0	無	—	—	—	—
	"	2	4.0	1	1	0	2	少	—	—	—	—
	"	3	0.0	0	0	0	0	無	—	—	—	—
	"	4	0.0	0	0	0	0	無	0	0	0	0
	京都市伏見区	1	0.0	0	0	0	0	無	1	0	0	1
	"	2	0.0	0	0	0	0	無	0	0	0	0
	大山崎町	1	4.0	1	0	0	1	少	—	—	—	—
	"	2	4.0	0	1	0	1	少	—	—	—	—
	久御山町	1	0.0	0	0	0	0	無	0	0	0	0
	八幡市	1	0.0	0	0	0	0	無	0	0	0	0
	精華町	1	0.0	0	0	0	0	無	0	0	0	0
	木津川市	1	0.0	0	0	0	0	無	—	—	—	—
	"	2	0.0	0	0	0	0	無	—	—	—	—
"	3	0.0	0	0	0	0	無	0	0	0	0	
南丹	亀岡市	1	0.0	0	0	0	0	無	—	—	—	—
	"	2	0.0	0	0	0	0	無	—	—	—	—
	"	3	0.0	0	0	0	0	無	—	—	—	—
	"	4	0.0	0	0	0	0	無	—	—	—	—
	八木町	1	0.0	0	0	0	0	無	—	—	—	—
	"	2	0.0	0	0	0	0	無	—	—	—	—
	"	3	0.0	0	0	0	0	無	—	—	—	—
"	4	0.0	0	0	0	0	無	—	—	—	—	
中丹	福知山市	1	0.0	0	0	0	0	無	0	0	0	0
	"	2	0.0	0	0	0	0	無	0	0	0	0
	"	3	0.0	0	0	0	0	無	0	0	0	0
	舞鶴市	1	8.0	2	0	0	2	少	—	—	—	—
	"	2	8.0	2	0	0	2	少	—	—	—	—
程度	無	少	中	多	甚							
25株当たり虫数	0	1～125	126～500	501～1250	1251以上							

## (2) トビイロウンカの生態

- 成虫には羽の長い型（長翅型、写真1）と短い型（短翅型）があり、ほ場に飛来する成虫はすべて長翅型で、その後の世代で増殖能力の高い短翅型が出現します。
- トビイロウンカは通常1ヶ月弱で世代を繰り返すため、急激に増殖し、坪枯れを生じさせることがあります（写真2）。今後収穫期を迎える中晩生品種では、発生状況に注意してください。
- トビイロウンカは局所的に発生する傾向があるため、ほ場全体をよく観察し、発生に十分注意してください。特に株元に多いので、株元を注意して観察してください。
- 低湿田、通風不良田、多肥田等では発生しやすいので注意が必要です。

## (3) 防除上の注意事項

- 防除の目安は株当たり成幼虫が5頭以上です。
- 農薬の使用にあたっては使用基準を遵守してください。収穫期に近いので、収穫前使用日数や使用回数に注意してください。
- 粒剤では種類により施用時期が決まっているので、適期に施用してください。また、粉剤や液剤で防除する場合は、薬剤が株元に十分届くように散布してください。なお、防除の際には、周辺ほ場に農薬が飛散しないよう十分に注意してください。
- 収穫期が迫り、薬剤防除が出来ないほ場は、収穫適期の範囲内で早めに収穫してください。
- 必要以上に早い落水は、坪枯れの発生を助長するので、適期落水に努めてください。
- 出穂前後に害虫防除を実施したほ場では被害（坪枯れ）が生じる可能性は低いと考えられますが、ほ場によっては密度が高くなることもあるので十分注意してください。



写真1 トビイロウンカ長翅型成虫



写真2 トビイロウンカによる坪枯れ